

のそみ

Public Relations Magazine NOZOMI

03 | 理事長対談

常盤木学園高等学校
サッカー部監督

公益社団法人 仙台青年会議所
第67代理事長

阿部 由晴 × 熱海 秀宗

02 | 理事長あいさつ

06 | DEAR SENDAI

08 | 委員会紹介

12 | 事業報告

13 | キャンドルナイト 2018

14 | 杜の都フォトコンテスト



理事長あいさつ



公益社団法人 仙台青年会議所
第67代理事長

熱海 秀宗

日頃より当青年会議所に対し、ご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝と御礼を申しあげます。

青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」をめざし、まちづくりやひとづくりを行っている団体です。仙台青年会議所も、1951年に全国で11番目の青年会議所として誕生し、以来66年にわたり地域の抱えている課題の解決に向け、まちやひとの「しあわせ」に繋がる事業の実施や政策提言を行い、市民へ意識変革を促し、地域発展に取り組んでまいりました。本年の仙台青年会議所は、「IMAGINATION」思いやり溢れる仙台の創造」をスローガンに掲げさせていただきます、私たち一人ひとりが、まちやひとの「しあわせ」を実現できる運動を展開し、仙台JIC中期ビジョンが掲げる、しあわせを共感できる仙台の実現に向けて、新たな一歩を踏み出してまいります。また、今後も市民の皆様を対象とした、公開例会や事業を数多く実施してまいりますので、私たちの運動にご参加いただき、共に仙台を創りあげてまいります。

想像力が溢れるまちは、思いやりに溢れています。相手の考えを想像し、相手の気持ちを理解しようとする。そして、相手の想いを想像し、相手の心に寄り添って共感しようとする。この思考のプロセスから生まれる言葉や行動だからこそ、本当に伝わるのです。

互いの心に寄り添い、共に行動する、相手への思いやり。地域愛を育み、地域の活性化に繋げる、地域への思いやり。

誰もが笑顔溢れる未来をめざす、未来への思いやり。そして、自分自身を受け入れ、自己成長を促す、自分への思いやり。

本年度の仙台JICは、想像力を高め、一人ひとりが互いに心を寄せ合い、思いやり溢れるしあわせを共感できる仙台の実現に向けて運動を展開し、私たちの住み暮らす仙台が世界で一番すてきな「まち」となるように、これからも地域が抱える課題解決に向けた活動を実施し、地域の発展に向けて活動してまいります。

今後とも市民の皆様をはじめ、関係各所の皆様、特別会員の皆様からの変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。





公益社団法人 仙台青年会議所 第7代 代理理事長
熱海 秀宗
理事長
対談
阿部 由晴
常盤木学園高等学校サッカー部監督

Yoshiharu Abe × Hidemune Atsumi

なでしこの父に聞く 次世代教育

プロフィール
阿部由晴(あべ よしはる /1962年生まれ)
秋田県出身
宮城県育ちのサッカー指導者、教育者。
常盤木学園高等学校サッカー部の名監督
として知られる人物であり、女子サッカー
日本代表選手・プロ女子サッカー選手を
多く輩出している。

仙台青年会議所 熱海理事長(以下、熱海)

仙台青年会議所という団体をご存知だ
と思いますが、仙台のまちをより良くし
たい想いから、まちづくりであったり、
ひとづくりであったり、自己鍛錬を行っ
ている団体です。

本日はまちづくり、ひとづくり、自己
鍛錬の観点からお話を聞かせてください。
先生は常盤木学園でご指導をされてか
らずっと仙台にお住まいですが、時代によ
って様々な変化がある中、先生から見
て、仙台が今後『こう変わってほしいばい
いのかなあ』という想いがありますか。

常盤木学園高等学校サッカー部 阿部監督(以下、阿部) 基本的に良いまちづく
りは、良い家庭からはじまるのだと思
います。良い家庭から良い会社ができるし、
良い会社があれば良い社会ができる。良
い社会ができれば、もちろん良い地域が
できるし、良い仙台市、良い宮城県、そ
れがひいては日本社会を形成していくだ
ろうと思います。

まずは大きい枠組ではなく少数単位で
物事を考えていくべきであり、そうすれ
ば、身近に感じながら変わっていくと思
います。

熱海 常盤木学園はサッカーで有名な
で日本全国から生徒が集まるといいます。

生徒の育った環境や地域、考え方も違
う。下宿に泊まっている生徒もいれば、
自宅から通っているなど様々な生徒がい
ると思います。表現が適切かわかりませ
んが、そのような生徒をまとめるために
何かを付けている事はありますか。
たとえば、先生方教育者の立場ですと

か親代わりの立場ですとか、地域住民と
いうか、色々な立場や場面、状況がある
と思います。

阿部 ごく普通に社会の現状、そして今
の日本の分析でしょうか。

そういったものを進めていきながら、
同時に学問の大切さ、学問の何を勉強し
ていかなきゃいけないのかという事を含
めて、物事をきちんと考える事につなげ
たいと考えています。

地域との関わりについては社会のほう
が逆にあまりにも過剰になりすぎている
と思っており、ひずんだ物の見方をし
すぎているんじゃないかなと思います。

だから一番大切な家庭を作っていく分
野に関して、どうもうまくそこに踏み込
んでいけない。ちよつと人間関係が逆に
希薄になってきたというような寂しさ
を感じていますね。

熱海 生徒とのコミュニケーションに関
してはすごく取れていると感じますが、
親御さんとのコミュニケーションはい
がですか。

阿部 あんまり取らないですね。

まあ、「任せろ」って感じですかね。こ
うなったら任せなさいって...。

今、平昌オリンピックをやっています
よね。スケートの高木美帆という選手は
もともとサッカーをやっていたんです
よ。中学校の日本代表選手だったんです。

熱海 そうだったんですか。

阿部 スケートなのかサッカーなのかと



いう状況の中、もしサッカーを選んでいたらあの当時、常盤木に来ていたかもしれない子だったんです。

でも今はスケートをやっていて、お父さんもスケート連盟の役員もしていました。あまりお誘いはしませんでした。オリンピックに出て、前回はオリンピック選考会で落選でしたが、今回は金メダルをとる活躍ぶりです。選手・生徒の人生の岐路に直面する機会が私たちは多いんですよ。

たとえば僕であればサッカーですけれども、その時に最終的な自分の成功を分けている事が、実は家庭にあったりするんですよ。良い家庭の中で育まれた子というのは、やはり親を大切にします。そういう家庭の子はご先祖様も大切にします。たとえば、お墓参りをしたりとか。

もちろん自分も子どもも親も大切だから、縦のつながりも大事に守っている。

そういう家庭の環境がきちんとしていると岐路で失敗がないんです。

そういう事がわかってくると私の中でも普段大切にしている感覚、そういう部分の植え付け方というのが教育の中で変わっていくと思うんです。それは生徒が将来幸せになるためには絶対に必要なことであり、自分たちが家庭に持ち帰り自分が育んでいくものですから。そういったベースがあつたうえで初めてサッカーがあり、勉強があり、そして自分の人生があり、方向性を見出すと間違った選択をしない。良い出会いをして、良い結婚をして、良い家庭を育んで、またその中に優秀な人材が育成されていくのではないかと期待しています。

熱海 常盤木学園のサッカー部は自主的に話し合ったり必要なことを判断してリーダー役になったり、補佐役になったり、色々な役割分担をしていると伺ったのですが指導するうえでのポイントはありますか。

阿部 まず始めにやることはパワーバランスを崩してやるんです。先輩後輩のパワーバランスを逆転させて、その中で自分がこれから求めようとする真の強さというものに面と向かわせることが重要です。だから個がいくら強くても常盤木に来たら大した問題ではありません。

日本人の美学

熱海 一昨年、日本青年会議所で、青少年育成事業というものを担当させていた

だき、*JCカップというサッカー全国大会を開催しました。試合だけでなく違うチーム同士の交流をしたり、サッカーಕ್ಕともお話をさせていただきました。

その中で招待したドイツチームが、個人技を中心にしたチームだったので興味を持ち先生と話をしたんです。

すると子どもたちは好き勝手やらせて個人の能力を高め、中学でパスを学び、高校で戦術を学ぶ。後は保護者が我慢できるかどうかなんだと言われました。確かに僕の周りのお父さんお母さんは勝利至上主義ではないのですが、どうしても勝たせたいという意識があるものですか。面白い意見だと感じました。

先生はサッカーを通じて教えられることがたくさんあると思うのですが、何か代表的なことはありますか。

阿部 たくさんありますね。ただ日本人



は日本人のスポーツ文化を持っている。日本人の民族性がスポーツにも出ていると思いますし、日本人は食事でもなんでも美学を大事にすると思うんです。その美しさっていう感覚は欧米とは全然違う。日本人はすべて完璧を求めようとする民族。それは生きることを通して完璧なのか、それともサッカーだったらサッカーなのか、何か別のものに対してなのか。

すべてに対してパーフェクトというのが日本人の基本線にある。だから簡単に褒めたりしないんです。最終的にパーフェクトを求めていくまで追い求める。そしてそれをストイックなまでに生活に落とし込んでいく事ができる。これはよその国の人たちにはなかなかできないが、私たちはそういう事がごく普通にできる。そしてさらに上に行こうというのが日本人の考え方の原点にある。それをいつの間にか欧米のマネをして自分の国の凄い文化に目を向けないところにちよつとした腹立たしさを感じます。日本人は日本人のものの見方を深く考えたほうが誇りを持つのではないかと思います。

熱海 学校は毎年進化し続ける組織だと思えますが、その組織の中でより良く成長させなくてはいけないと思います。その中でも大切に行っていることはありますか。より良くするために、たとえば精神性であったりとか教えなどがありますか。

阿部 さっき言った日本の文化というか感覚を知らずに教育を受けてきているから、もう一度そういう事を呼び起こさせろ。そういう事を常日頃話していき考え

ると必然的に自ら勉強をしないとと思うようになり、自発性を促し人の話を聞くようになります。うちのサッカー部は週に1回モーニングセミナーっていうのを朝6時半〜7時半までするんです。大人の成功者のお話を聞かせています。

あと、ひとつのテーマをみんなで共有し発表会を行います。これが結構良いですね。

同じ文章を読んでもそれぞれ意見が違い、他人の意見を聞くようになるんです。これって自分にとって得だなと感じるようになり、他の意見を吸収できるようになる。

熱海 面白いですねそれは。僕の時限定されたコミュニケーションの中でしか生活したことがなかったので、クラスであったり学年であったり、部活とか、登下校時の友達とか、そういう事だけでしたので、他の人の話を聞くというのは非常に面白いですね。

母は太陽、父は尊い

熱海 私たちは30代が多くなる団体です。子育て世代と言いますが、我々の世代に対して何か伝えたい事はありますか。

阿部 やっぱり、自分の愛した女性を大事にするべきです(笑)

自分の女房を大切にすることが、まず基本ですよ。母親というのは語源が太陽らしいのですが、太陽というのは全てを育む自然そのものであり、これの元が太陽だからあなたは私にとって非常に尊



い人だと。ちなみに、お父さんの語源は尊い人。お父さんはとっても偉い人なんだから、あなたはお父さんのことをしっかりと見習って頑張りなさいというのが家庭の教育で、そこには太陽があり、自分からするのではなくて太陽が照らすことによって、おのずと周りの状況、その他が良くなっていき、繁栄していくという事です。それが家庭の中で起きています。その言葉一つにしても全然違う社会を創り上げているというところに、こんなところをきちんと精査していけば、それだけで全然違いますし、家庭の在り方、家庭が良くなれば社会が良くなる、そんなところから来るのだと思うんですよね。

今、求められる次世代教育

熱海 今、働き方改革を行政が進めてい

ますが、教員でもある先生は、何か思うところはございますか。

阿部 昔の教員はほとんど、自分の財産を投げ出して、教育のために尽くしていました。聖職者という人ですよ。聖職者って何かというと、これは宗教家にする言葉。つまり、同じようなお金じやない価値観の中で仕事を全うする。それが基本だったのに、今は給料がいくら入ってもっと金をくれ、休みが欲しい。そういう考え方で、自分の生活の都合、自分の生活が一番大事だから、生徒の都合はどうでもよい。これが今の状況ですよ。そしたら、生徒さんたちも当然、こっちを向くわけがないですね。

熱海 ありがとうございます。先程おっしゃったように、これからもサッカーを通じて人間性を育てていくという事だと思っております。先生の今後の展望とか、お考えがありましたら教えてください。と思います。

阿部 私はサッカーを通してその子どもたちに色々な事を指導していきながら、色々な経験をさせて、色々な実践を積みせております。そういう貴重な体験を元にここで、高校サッカーで花開いていく子もいますが、それはごく一部なんです。そうではない人たちでも、その影響力というものをしっかり持って、暖かい家庭を作っていく礎、ベースを作っていければ、いずれそこから自分の人生の経験の中で、良い恋愛をして結婚して、生まれてくる子どもにとってもない良い影響を与えることのできる母親になると思いま

す。そうやっていくと、私が教えた子どもたちの中から日本を支えていくような、沢山のリーダーが出てきて、極端な話、国会で総理大臣が生まれました。それは常盤木のサッカー部の生徒の子どもだったと。さらに調べたら常盤木の卒業生じゃないかと。いったいどうなっているのだと不思議がられるような、そういう教育をしていきたいと思っております。

熱海 素晴らしいですね。すごく壮大です。

阿部 その時がくるまで長生きしなければいけませんね(笑)

熱海 先生、今日は長時間にわたってお話していただいてありがとうございます。とても勉強させていただきました。今後は是非仙台JFCをよろしく願います。



DEAR SENDAI

1人の1歩から100万人の1歩へ

まち
仙台のために1歩踏み出しませんか？

自己成長

Self-growth

NOM

National Organization Member

日本青年会議所

地区協議会(全国10地区)

ブロック協議会(全国47ブロック)

宮城ブロック協議会

(11LOM)

LOM

Local Organization Member

各地青年会議所

都市ごと、あるいは都市

町村が集まった形で組織され

現在695LOM約3.5万人

(2017年12月現在)

国際交流

International exchange

会議所

International Sendai

1人の力には、限界がある

1人の100歩ではなく100万人の1歩へ

「ひと」は、「ひと」と出会うことで磨かれ、
新たな人生が始まる

互いの繋がりの中で個性を響かせあい、
様々な時や場所で協調していく
そうした協働する仲間を増やすことができれば、
必ず地域を変えることができる

昭和26年3月15日 ここから我々の1歩が始まった。



1,2.無医村診療で社会奉仕に力を入れた時代(昭和31年~43年) 3.歩行者天国を先駆け50万人市民パレード(昭和46年)

お問い合わせ・お申し込み

公益社団法人 仙台青年会議所

仙台 JC



<http://www.sendai-jc.or.jp/>

TEL:022-222-9788 Mail:office@sendai-jc.or.jp





地域に根を張り、視野は世界へ

JC運動は常に「地域」を主体とします。

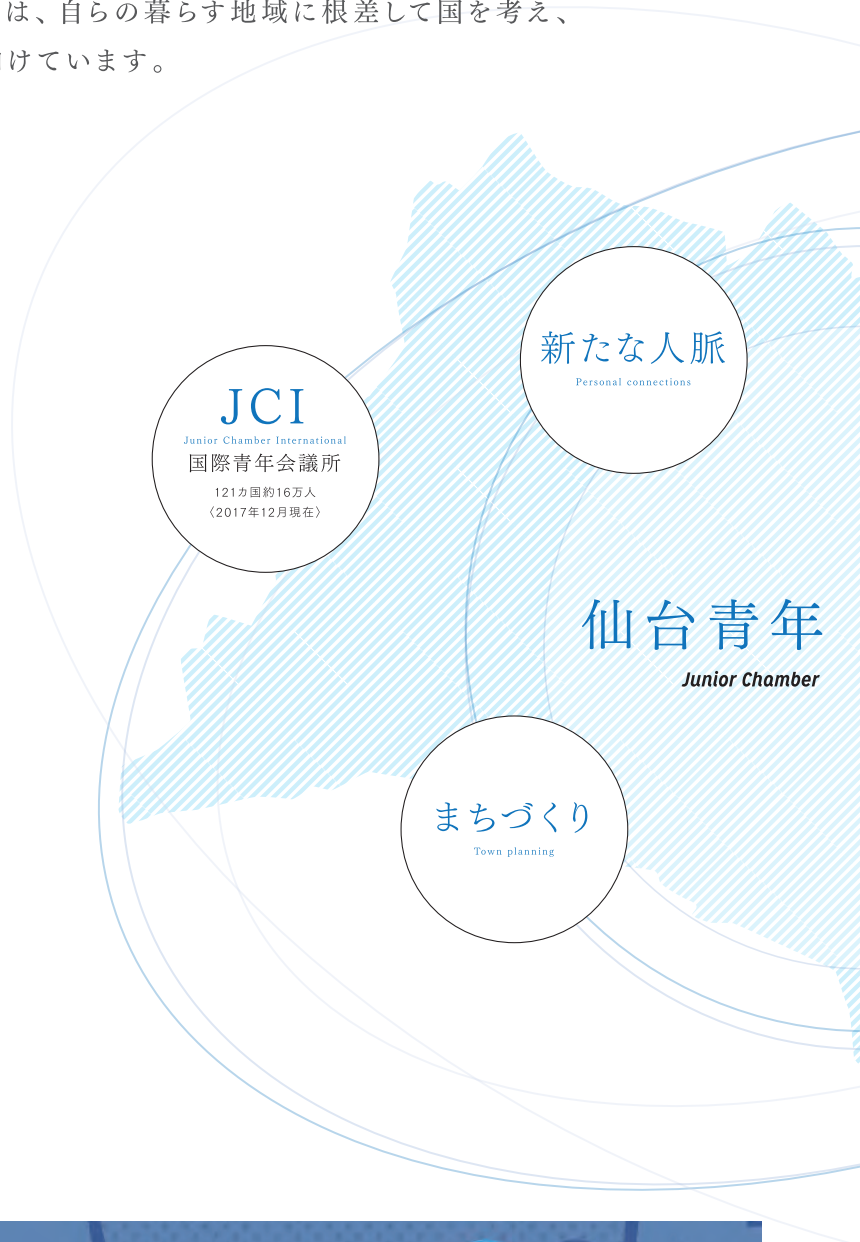
各国のメンバーは、自らの暮らす地域に根差して国を考え、世界へと目を向けています。

About Junior Chamber International Sendai.

仙台青年会議所とは？



仙台青年会議所は1951年(昭和26年)3月15日に発足し、同年7月全国で11番目(東北地区最初)のJCとして日本青年会議所に加入しました。以来60年以上に渡り、我がまち“仙台”のために文化、経済、交通問題など、様々な角度からまちづくりを考え、実践してまいりました。「無医村医療」「歩行者天国」「宮城青年の船」「循環バス路線」「トライアスロン仙台国際大会」「交響詩SENDAIためとう時の音」「フィリピン青少年交流事業」「リバーサイド青少年交流事業」「タイ青少年招へい事業」「生活情報交換会 大井戸端会議」など、会議所内部だけでなく、市民の方々と共に取り組んだ事業や、行政に働きかけ実現している構想が多々あります。



JCI **あなたはどのタイプ?**

SENDAI JCMAN AND JCWOMAN

公益社団法人 仙台青年会議所

こちらのQRコードより
.....**入会ストーリー**
アクセスしてください。

委員会紹介



七夕花火祭特別委員会



彩り 笑顔が溢れる仙台へ

七夕花火祭特別委員会 特別委員長

遠藤 隼人

七夕花火祭特別委員会では、地域を取り巻く環境の変化が激しく進む中、市民意識の高揚と仙台の活性化をめざして活動する運動体として、市民とともに地域愛を確立した魅力と活力に溢れる仙台的の実現のために活動しています。当委員会の2018年度最初の事業といたしまして新年式典・新春名刺交換会を1月23日(火)に開催いたしました。仙台JCと関わりの深い行政機関や関係各所を招待して、意見交換を通して相互に理解を深め合い、従来からの協力関係をさらに強固なものにするため多くの方々に御参列いただきました。式典では2017年度の事業報告をご覧いただき、2018年度仙台JCの掲げる「IMAGINATION」思いやり溢れる仙台的の創造」という想いと決意を多くの方々に発信しました。そして、仙台市民の皆さまより親しまれつづけ、今まで連続と受け継いできた歴史ある仙台七夕花火祭を本年も安全を最優先に地域愛を育む事業として開催をめざします。仙台七夕花火祭は、1970年にこの仙台を明るくする目的で開催されました。今では仙台七夕まつりの前夜祭として開催され長らく市民に愛されつづけています。本年度は

仙台の夏の夜を笑顔で彩るために、「彩り笑顔が溢れる仙台へ」をテーマに第49回仙台七夕花火祭を企画しております。本年も全ての方々喜びに包まれた花火を打ち上げるために、仙台JCをはじめ、市民、行政、パートナー、スポンサー企業がこれまで以上に協力する必要があります。仙台の夏の風物詩として、毎年行ってきた歴史ある七夕まつりも今では、日本一の七夕まつりであり、私たちが主催する仙台七夕花火祭も全国的にも珍しい都市中心部での打上げ花火として毎年約50万人にご来場いただいております。2015年の地下鉄東西線の開通を代表とした都市開発等の影響で、この仙台七夕花火祭を取り巻く環境も打ち上げ当初から比べると大きく変化しておりますが、仙台を明るくするという第1回当初の想いを忘れずに、今後も活動してまいります。仙台や人のしあわせを創造する地域のリーダーへと成長した私たちが、地域愛を育む運動体である自覚と持続可能な協働から生まれる想像力のもと、市民行政とともに愛されるシンボルが輝き続ける地域活性化の原動力として、思いやり溢れる仙台を実現いたします。



委員会紹介



法令会計審査会議



Legal Examination and Audit !!

法令会計審査会議 議長

古川 直磨

法令会計審査会議では、公益法人としてあるべき組織運営を実現するために、ルールに基づき透明性の高い事業実施を実現するためにしっかりとしたコンプライアンスと予算・決算を確認します。そして、公益法人認定法に定められた各種手続を法令に従って確実に実施することで、公益法人格を維持します。また、円滑な法人運営を実現するために、法人運営に関する基本規則を適時に検証し、必要に応じて改定することで、時代に即した組織へと進化していきます。そのほか、アワード申請、人間力大賞へのエントリーを担当します。法令会計審査会議は高い透明性のもと、より良い事業を行うために各事業・例会の実施に対し、厳格なチェック体制を継続してまいります。



思いやり溢れる^{まち}仙台創造会議



防災環境都市への確立

思いやり溢れる^{まち}仙台創造会議議長

木皿 譲司

思いやり溢れる^{まち}仙台創造会議では、防災を観点とした「ひとづくり」「まちづくり」をもとに、地域特性を考慮した防災対策の重要性を啓発するとともに、防災・減災意識と災害対応能力を高め、公助・自助・共助が有機的に作用する防災環境都市仙台的確立に向けた事業を展開します。また、LOMビジョンの検証を行い、組織の明確な運動指針として確立するとともに、統一意思のもと効果的な地域運動を展開する会員意識を高める例会を開催します。さらに、地域活性の実績を有する都市における事例や要因を調査研究するとともに、JCの独自性やネットワークを活かした地域活性化策や世界規模の大会・事業が地域に与える経済的・社会的波及効果を調査研究し、地域に新たな価値を見出す方策としてまとめます。



TOKIWAGI GAKUEN HIGH SCHOOL
常盤木学園高等学校



次世代構築委員会



次代を担う子どもたちの育成

次世代構築委員会委員長 山口 剛史

次世代構築委員会では、次代を担う子どもたちに直接体験を通して、社会性や人間性を育んでいただくために、思いやる心や感謝の心を中心とした道徳心を養い成長する機会の提供を行います。そのためには、子どもたちが成長する環境を支えている大人自身が自らの役割を認識して大人同士の協力を密にすることで、子どもたちが安心して成長することができる環境の実現が必要と考えます。当委員会は、2回の公開例会と事業の実施を通して、大人と子どもが思いやり、支え合い、お互いが感謝を持つて接する重要性を発信し、地域の宝である子どもたちが仙台の未来を支える人財となる運動を展開し、思いやり溢れる仙台の実現を目指します。



地域連携委員会



多様な連携による地域活性化を推進

地域連携委員会委員長 坂部 経洋

地域連携委員会では、インバウンドを中心とした交流人口拡大による地域経済の活性化に取り組んでまいります。まずは、第4回公開例会（4月）を通して、仙台の問題や課題を共有し、解決の方向性を提示してまいります。そして、課題を解決させるために、さまざまな地域資源を組み合わせ、多様な連携により経済的、社会的な好循環を生み出し、市民と海外の方々とが学びや楽しさを共有できる新たなロールモデルを提唱するまちづくり事業を行ってまいります。さらに、第11回公開例会（11月）を通して、事業の検証と継続的な発信を行ってまいります。思いやり溢れる仙台の実現のため、1年間、どうぞ宜しくお願いいたします。

株式会社 中 和 不動産・コイン洗車場経営

仙台市青葉区上杉三丁目3番20号 ユナイト上杉ビル

電話：022-263-7075 FAX：022-263-7076

MEMBERS DINING



KANAE

委員会紹介



会員開発委員会



会員開発委員会委員長 石田 英誉

まちを動かす1歩に

会員開発委員会では、新入会員の募集、入会後の育成を行ってまいります。会員拡大事業は青年会議所運動の基本であり、最も長く60年以上続いている継続事業です。新入会員入会後は青年会議所の運動を理解していただき、賛同していただくことで、2018年度スローガン「IMAGINATION」思いやり溢れる仙台の創造」のもと運動のさらなる展開に繋がってまいります。1人の1歩には限界がある。1人でも多くの仲間を増やすことで、皆さまの1歩がまちを動かす1歩となります。2018年度の入会締切は4月1日となりますので25歳から37歳の仙台のために1歩踏み出したい方からのご連絡お待ちしております。



JCコミュニケーション推進委員会



JCコミュニケーション推進委員会委員長 豊川 義仁

仙台JCの活動や仙台の魅力を発信

JCコミュニケーション推進委員会では、「IMAGINATION」思いやり溢れる仙台の創造」のスローガンのもと、私たちの運動を幅広く市民に周知し認知度を向上させるために、公式ホームページやフェイスブックを運用し発信してまいります。さらに、各会議体・特別委員会・委員会の広報幹事を中心として、メンバー一人ひとりがJC運動を発信できる体制を構築していきます。また、本年度は広報誌「のぞみ」を年3回発行し、仙台の魅力や仙台青年会議所の活動を市民の方々に報告いたします。そして、青年会議所の各種大会の情報を発信するとともに、友好関係にある海外の青年会議所との交流を通じて、グローバルな活動を展開してまいります。



総務委員会



総務委員会委員長 長谷川 剛介

仙台JCを支える

総務委員会では、仙台JC全体が事業展開をするうえで、の支援体制と組織基盤を構築するために、厳格な会議資料のチェックを行い、円滑な会議運営を確保するとともに、議論内容を正確に記録してまいります。また、会員名簿、基本資料、アニュアルレポートの作成をはじめ、対内メールマガジンの発行を行ってまいります。そして、卒業生の経験や健闘の軌跡を分かち合い、想いを繋ぐ機会を提供するために、2018年度最後の例会となる12月例会の設えを担わせていただきます。確固たる支援体制と組織基盤構築に取り組み、一人ひとりが運動の目的を理解した連携と主体的な行動力を発揮する組織となるために、仙台JCの運動を支えてまいります。



資質向上委員会



資質向上委員会委員長 中村 望成

発想と想像で資質を高める

資質向上委員会では、第3回例会（創立例会）、第5回例会、第9回例会及び各種大会におけるブースの設営を行います。まずは、仙台JCの誕生を盛大にお祝いする第67回創立例会において、連綿と受け継がれてきた歴史を継承し、組織を発展させる意識を醸成します。第5回例会では、柔軟な発想力で想像力を高め、人々を惹きつける魅力を持ったリーダーを育成する機会とし、第9回例会では、思いやりの心で相手と向き合い行動することで仲間としての絆を深め、強固な結束力を生み出す機会とします。各種大会のブース設営において仙台の伝統と魅力を発信することで広い視野で運動を展開する組織へ進化する機会とします。1年間を通して仙台JCを揺るぎない結束で結ばれた組織として発展させるべく活動してまいります。



2018
1.21
sun

新年式典
具体的に理解するとともに、その想いを胸に刻み込みました。また、仙台JICからの出向メンバーも各会議体・委員会にて活躍しました。



2018
1.14
sun

どんと祭・裸参り

小正月の1月14日(日)に、伝統行事「どんと祭」が宮城県各地で開催されました。仙台青年会議所の裸参りも今年で34回目になります。身も引き締まる寒さの中、事故も無く無事盛大に終えることができました。「思いやり溢れる仙台」の実現を願う多くのメンバーが心を一つにして青葉神社の御神火をめざしました。神社では御祈禱を執り行い、本年度の活動を、これからの仙台の発展を祈願してまいりました。

京都会議

1月19日(金)から21日(日)にかけて日本青年会議所2018年度の新たな活動の幕開けの場として開催されました。特に、新年式典では日本JIC会頭より2018年度のJIC運動の基本理念や運動方針が発信され、本年度の基本理念である『和』の精神性が導く、愛と希望溢れる国「日本の創造」を



2018
2.7
wed

第1回通常総会

2018年2月7日(水)公益社団法人仙台青年会議所2018年度第1回通常総会が仙台市戦災復興記念館記念ホールにて開催されました。通常総会は、当会議所の最高意思決定機関であり、年に2回開催されます。第1回総会当日は、2017年度事業報告並びに会計報告・会計監査報告(案)承認の件、2018年度監事選任(案)承認の件、2018年度出向者(案)承認の件、定款の変更(案)承認の件の各議案が審議され、満場一致にて可決承認されました。また、報告事項として2018年度事業計画並びに予算報告がなされました。

度事業報告並びに会計報告・会計監査報告(案)承認の件、2018年度監事選任(案)承認の件、2018年度出向者(案)承認の件、定款の変更(案)承認の件の各議案が審議され、満場一致にて可決承認されました。また、報告事項として2018年度事業計画並びに予算報告がなされました。



2018
1.23
tue

新年式典・新春名刺交換会

1月23日(火)江陽グランドホテルにて新年式典・新春名刺交換会を開催しました。式典においては、ご来場いただいた行政をはじめとする関係各所や特別会員の皆さまに熱海理事長の所信表明があり、「思いやり溢れる仙台」をスローガンに本年度の仙台JICの方向性を力強く発信しました。また、名刺交換会においては、仙台JICメンバーが来場された皆さまと積極的なコミュニケーションを図ることができました。

第2回例会

本例会では、メインフォーラムとクロストークの2部構成で実施しました。メインフォーラムでは講師に高木豊氏をお招きして、子どもたちが思いやる心や生きるための知恵を持つて成長するには、まずは子どもたちに接する大人がしっかりと課題を認識して接することが必要であることをお話いただき、親と子、地域の大人と子どもたちについてお話いただきました。クロストークでは、高木豊氏に加えて、宮城教育大学特任教授の堀越清治氏をお招きして、教育者の視点から高木氏とより深く話を展開していただきました。本例会を通して、お越しいただいた方々に、子どもたちが自ら行動し考え経験する環境を我々大人が構築する重要性を認識していただきました。



2018
2.7
wed

本例会では、メインフォーラムとクロストークの2部構成で実施しました。メインフォーラムでは講師に高木豊氏をお招きして、子どもたちが思いやる心や生きるための知恵を持つて成長するには、まずは子どもたちに接する大人がしっかりと課題を認識して接することが必要であることをお話いただき、親と子、地域の大人と子どもたちについてお話いただきました。クロストークでは、高木豊氏に加えて、宮城教育大学特任教授の堀越清治氏をお招きして、教育者の視点から高木氏とより深く話を展開していただきました。本例会を通して、お越しいただいた方々に、子どもたちが自ら行動し考え経験する環境を我々大人が構築する重要性を認識していただきました。



3・11 キャンドルナイトの歩み

2011年3月11日に発災した東日本大震災は、私たちの住み暮らすまちに甚大な被害を与えました。全てのライフラインが遮断され、電気もガスも水道も使えない生活を多くの方が経験しました。仙台JCは仙台市の依頼により震災から1年が経過した2012年の3月11日に、「わたしたちは忘れない～世界中に伝える」ありがとう」と題してキャンドルナイトを実施し、世界中からいただいた支援に対する感謝の想いを発信いたしました。この希望の光は、これから復興へ進む道を照らす光となるものでした。それから毎年3月11日に震災の風化防止と防災意識向上を目的に事業を

実施し2017年までの開催で述べ2万人の市民の皆様に参加していただいております。

2018年から仙台JCはこの事業を民間の団体にバトンを渡すこととなりました。そこで、この3.11に勾当台公園市民広場で行われるキャンドルナイトに関して、ここ近年企画、設営に携わっている高校生連携協議会より、「このまま継続して自分たちが繋げていきたい」と、力強い表明をいただきました。

キャンドルナイト2018

むすび～未来へつなげる伝承の輪～



キャンドルナイト実行委員長
高校生連携協議会 会長
伊藤 舞衣

東日本大震災から早くも7年の月日が経ちます。今年により多くの場面で高校生連携協議会としてキャンドルナイトに携わらせていただくことになり、改めて東日本大震災に向き合うために女川町を訪れ、お話を聞いてきました。

女川町では町民の10人に1人が亡くなり、人口に対する死者・行方不明者の割合が最も多かった町です。語り部さんの話で私が最も胸に残った出来事は、最初に震災から復興に向き合ったのは子供たちだったということです。子供たちが復興に歩いていこうと動き出したことで、大人もいつまでも悲しんでいるのではなく、「今を生きる子供たちのために前に立ち上がっていった」とおっしゃっていました。今、復興を推し進める過程においても「60代は口を出さない、50代は口は出すが、手は出さない」と、これからの女川町を担う若い世代が中心に復興を進めています。

これは女川町に限らず、私たちにも同じことが言えるかと思えます。日々の生活に東日本大震災の片鱗を見る人が減り続ける中で、いくら震災を経験した世代だけが復興に向かって動きかけてもいざ風化してしまいます。1000年に1度の大震災、私たちは幼く「守られる立場」でした。東日本大震災を経験し多くの方々を支えられ様々なことを学んだ私たちは「守る立場」として成長しました。私たちが経験した教訓や支援していただいたことへの感謝の気持ちを後世に伝え、震災を経験していない他の地域の方々や若い世代に伝え、私たちだからこそできることに取り組んでいきたいと思えます。

タイムスケジュール 2018年3月11日◎

- 13:00…………… 紙コップのメッセージ記入ブース開場
仙台市防災パネル展示開始
- 14:20…………… 東日本大震災追悼式中継開始
- 14:46…………… 黙禱
- 18:00…………… ● 式典開始・キャンドル点灯
● 3.11キャンドルナイト実行委員会挨拶
高校生連携協議会次期代表 清水 萌花
● 復興副大臣挨拶 土井 亨 様
● 仙台市長挨拶 郡 和子 様
● 合唱 仙台市立仙台青陵中等教育学校
- 19:00…………… キャンドルナイト終了

■ 主 催：3.11キャンドルナイト実行委員会 問い合わせ先▶代表：金ヶ崎 政伸(直通) TEL.222-6710(有限会社 金源堂内)
■ 後 援：仙台市、宮城県、仙台市教育委員会、宮城県教育委員会、復興庁宮城復興局



都の都 フォトコンテスト

テーマ ～仙台の魅力～

仙台の魅力あふれる風景、特徴ある建物、人と人とのふれあい、季節ごとの食の文化など『仙台の魅力』を撮影した写真が対象です。

応募方法

フォトコンテストには下記の方法でご応募ください。
応募の際、写真のタイトル（エピソード）、撮影場所を記載してください。

- 専用サイトからの応募……………右記、QRコードを読み込んでいただき、仙台JC公式ホームページから必要事項を記入の上ご応募ください。



応募期間

4月2日(月)～5月18日(金) 締切日の24:00まで有効

入賞発表

2018年7月上旬予定

入賞者あてに直接通知するとともに、ホームページ上にて発表します。
なお、入賞者の方以外への通知はありませんので、あらかじめご了承ください。

表彰

- グランプリ……………1名
- 金賞……………3名
- 銀賞……………6名
- 銅賞……………10名
- 佳作……………20名

※詳細はホームページを参照ください。

審査員

- 仙台青年会議所 理事長 1名
- 有職者 3名
- 行政関係者 2名
- 市民 3名
- 合計 9名

※市民票とは仙台青年会議所の公式ホームページからフォトコンテスト専用の画面による「いいね!」上位3作品
※詳細はホームページを参照ください。

募集規程

- 応募作品は他のコンテストなどに応募中および応募予定ではなく、かつ過去にほかのコンテストなどで入賞していないものに限りです。
 - 仙台市内の風景、建物（工造物など）、人物などを撮影した写真。※人物の場合は仙台市内で撮影したことがわかる背景にしてください。
 - ひとり3点まで応募可能です。
 - 応募作品の撮影時期は概ね1年以内とします。
- 注）募集規程に違反した場合や、入賞決定後でも主催者が類似または二重応募と認めた場合には、入賞取り消しとなる場合があります。

- お問い合わせ：公益社団法人 仙台青年会議所 JCコミュニケーション推進委員会 フォトコンテスト事務局
〒980-0014 仙台市青葉区本町2丁目16-12 仙台商工会議所ビル8F mail：sjc2018photocon@gmail.com
TEL：022-222-9788 受付時間：月～金曜（10:00～17:00）※祝日を除く



株式会社リバイブ

仙台市宮城野区仙台港北二丁目10-20

TEL：022-258-5464 FAX：022-254-8368

■建物・プラント・空調・電気設備
解体撤去工事

■重量物 搬入・据付工事

■非鉄・金属買取

■あと施工アンカー打設工事

■アスベスト除去工事

■産業廃棄物収集運搬

■特別管理産業廃棄物収集運搬

■産業廃棄物 中間処理施設

SHOOTING & DARTS BAR
ZERO

Special Price

飲み撃ち放題 ¥4,000

ACCESS MAP

HP
http://www.shooting-zero.net

facebook
https://www.facebook.com/#!/ShootingDarts-Bar-ZERO-198429897186401/

Twitter
https://twitter.com/zero201606?s=06

〒980-0811
仙台市青葉区一番町4-5-7
シエロ一番町4丁目ビル地下1階
TEL: 022-796-0668

ZERO

【Open time】
月～土・・・7：00pm～5：00am
日・・・7：00pm～3：00am

夢になるから未来が育つ

レゴ スクールでは、進むの中の 楽しい 面白い という 体験を通じて子どもたちの考える力や、二かな想像力を行います

春の体験プログラム

実施期間 **3/26(月)～4/8(日)**

【対象】2018年4月から年少～小学5年生まで(学年別カリキュラム)
【時間】1回50分 【定員】各クラス4～6名
※お申込み、詳細については各スクールまでお問い合わせください。

HPからお問い合わせで **春の体験プログラム** 通常料金3,240円(税込)
無料体験チケットをプレゼント!! お問い合わせはこちらから

※無料チケットはご入力いただいたメールアドレスにお送りします。

保護者向け 教育セミナー開催!

①「ひとりできた!」をお手伝い～モンテッソーリ教育～
開催日:3月31日(土)、4月7日(土)
レゴスクールの教育理念の基となっている「モンテッソーリ教育」がテーマ。その内容を中心に、親と子どもの関わり方などが解説されます。
講師:佐藤唯美さん 日本モンテッソーリ教育総合研究所 研究員・講師
会場 レゴスクール 泉タピオ 定員 各50人(先着)
お申込み方法 下記の各スクールへお電話でお申込みください。

②考える癖をつける学び～プログラミング教育～
開催日:4月1日(日)、8日(日)
プログラミング教育の必修化に向けて、その意義や注目されるようになった背景、どのような効果もたらされるか、などを講演やワークショップを通して伝えてくれます。
講師:川原田康文さん 相模女子大学小学院 副校長

★詳しくは、HPまたはお電話にてお問い合わせください。
http://www.katura-edu.com/

LEGO and the LEGO logo are trademarks of the LE. © Group. © 2018 The LEGO Group.

Public Relations Magazine NOZOMI

編集後記

公益社団法人 仙台青年会議所 広報誌「のぞみ」をご覧いただきましてありがとうございます。2018年度仙台青年会議所は「MAGINATION」(思いやり溢れる仙台的創造)をスローガンに活動を展開してまいります。その中でJ.Cコミュニケーション推進委員会では広報誌「のぞみ」を年間3回発行し、仙台青年会議所の活動を報告させていただき、公式ウェブサイトを、フェイスブックを活用して広く発信してまいります。419号では、常盤木学園サッカー部監督である阿部由晴氏との対談では、次世代教育をテーマに貴重なお話を伺いました。今後もJ.Cコミュニケーション推進委員会では市民の方々にわかりやすく発信し地域に根付く広報誌の制作に努めてまいります。広報誌「のぞみ」を発行するにあたりご協力とご支援をいただきました多くの皆様には心から感謝を申し上げます。

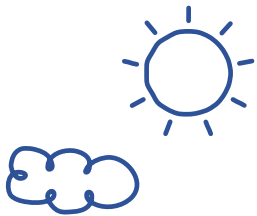
JCコミュニケーション推進委員会

■委員長 豊川 義仁	■委員 佐藤 生
■副委員長 古関 貞義	■委員 高橋 洋人
■副委員長 高橋 太	■委員 千葉 智久
■幹事 伊藤 賢太郎	■委員 長嶋 利幸
■幹事 小野 洋平	■委員 永野 健太
■幹事 鈴木 泰臣	■委員 松谷 威一朗
■委員 新井 洋平	■委員 松良 基広
■委員 櫻木 亮平	■委員 万城目 篤志



山一地所

不動産のことなら何でもご相談ください！



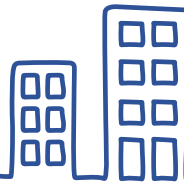
売りたい！

査定無料！買取も致します。



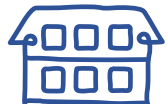
買いたい！

地域に根ざして40年。実績があります！



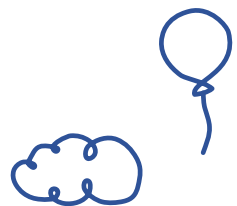
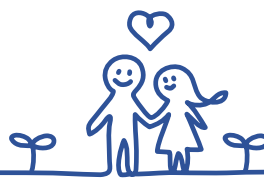
貸したい！

物件の管理も、トータルでサポートします！



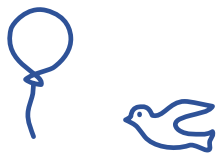
借りたい！

管理戸数、東北エリアトップクラス！



建てたい！

自由な発想の建築が自慢です！



お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

TEL.022-373-0001

<http://www.yamaichi-j.co.jp>

山一地所

検索